

大学のあるまちづくりにおけるあずま百樹園の再整備について

1 概要

大学間の連携や地域と大学の交流のための空間創出を目的として、テニスコート部分を含むあずま百樹園と大学整備用地の中心に位置するキャンパスコモンを、公園（緑地・広場）として一体的に整備するとともに、周辺道路の拡幅整備等を行うことで、墨田区における公園面積及び避難場所の拡充を図る。

2 基本設計

大学のあるまちづくりの実現のため、令和2年度にあずま百樹園再整備基本設計及びキャンパスコモン整備基本設計を行った。

これらの基本設計を進める中で、令和2年12月15日に開催された「跡地利用・まちづくりに関する住民協議会（あと・まち協議会）」において、次のとおり、整備計画図及び内容を示した。



整備計画内容

(1) 共通

- ア 大学と地域との交流の場となるよう、あずま百樹園とキャンパスコモンを一体的に整備する。
- イ 隣接する大学との間にフェンス等は設けない、開放的な整備とする。

(2) あずま百樹園

- ア 基本設計時の樹木診断結果を基に、可能な限り樹木を残しつつ、広々とした明るい空間を確保する。
- イ バリアフリーに適應するよう、高低差のある箇所にスロープ等を設置する。
- ウ 公園内のトイレは、曳舟たから通り側に改築する。

(3) キャンパスコモン

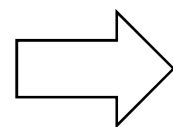
- ア 大学や地域との連携を想定し、様々な活動が行えるよう、広々とした舗装広場を整備する。
- イ 舗装広場を確保しながら、季節を感じられるよう、樹木を可能な限り配置し、緑の空間を確保する。

この整備計画図及び内容については、あと・まち協議会出席者の賛同を得たが、テニスコートに関しては、「この場所にテニスコートは必要なのか」、「移転して公園にしてほしい」、「テニスコート南側の道路が狭くて危ない」等の意見が複数出された。

また、令和2年度2月議会の議論の結果、テニスコートを移転することになった。以上を踏まえ、テニスコート部分について、キャンパスコモンと同様にあずま百樹園の緑地・広場として整備するよう設計及び工事を進めることとする。

【整備予定面積】

- ・あずま百樹園 約 3,700 m²
- ・キャンパスコモン 約 2,800 m²
- ・文花テニスコート 約 2,800 m²



【整備後面積】

- ・あずま百樹園 約 9,300 m²
- 約 5,600 m²の増加**

3 整備イメージ

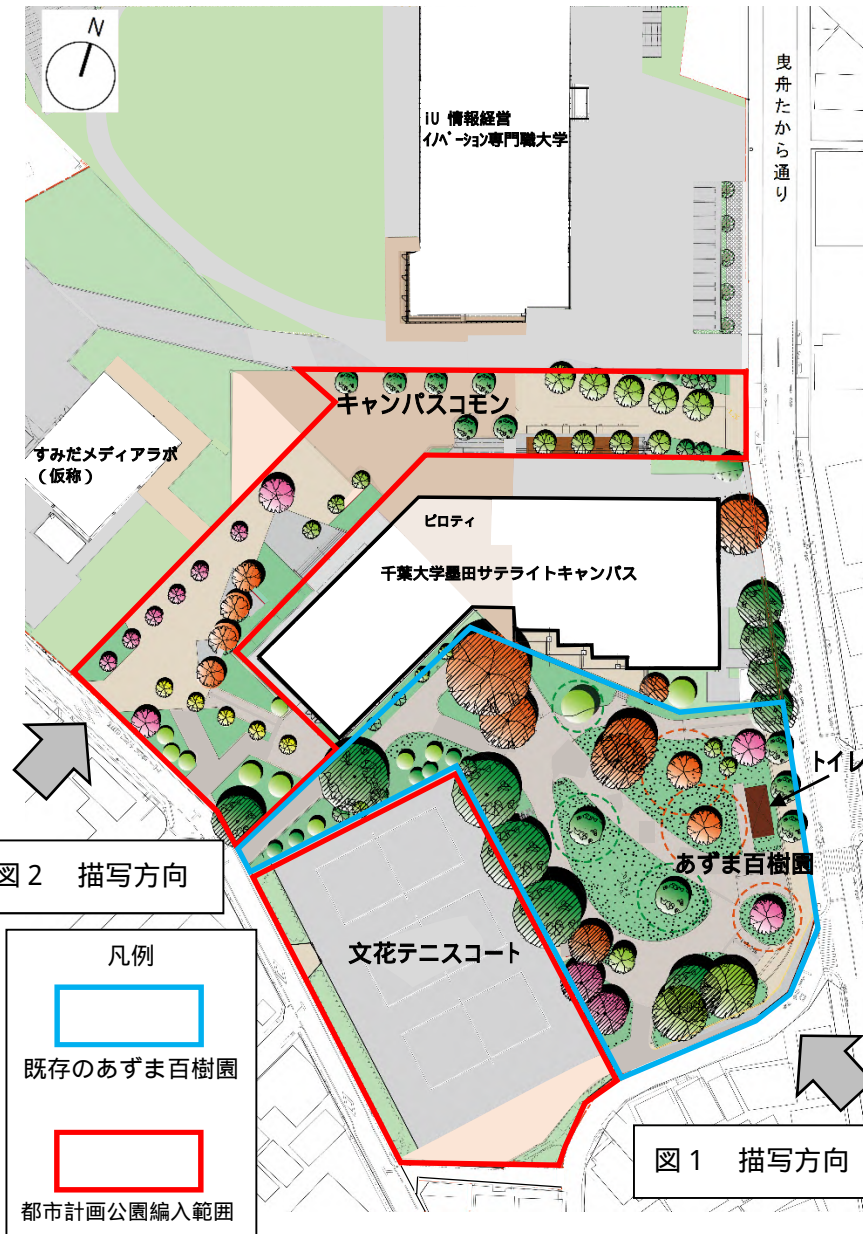


図1 あずま百樹園の整備イメージ



図2 キャンパスコモンの整備イメージ

4 都市計画の変更及びスケジュール

あずま百樹園は都市計画公園であるため、今回あずま百樹園と一体的に整備するキャンパスコモン及び文花テニスコート部分についても緑地・広場として都市計画公園に含めることとし、下表のとおり、あずま百樹園の都市計画変更手続を進める。

年度	R3	R4	R5	R6
あずま百樹園 (テニスコート敷地含む)	← 実施設計 →		← 工事 →	
キャンパスコモン	← 実施設計 →	← 工事 →		
都市計画変更		● 墨田区都市計画審議会 (都市計画決定・告示)		
事業認可手続		● 事業認可申請	● 事業認可取得・告示	